

[anbai_25]

活動タイトル	「第 33 回えべつ環境・SDGs 広場 2023」の開催
実施日	2023 年 9 月 23 日（土）～24 日（日）10：00～16：00
場所	江別市野幌公民館
対象数	約 630 名（来場者・出展者）
内容	<p>「えべつ環境広場」は、江別市と市内の環境活動団体等が連携し、環境に関する情報提供や、市民と一緒に環境について考える場として、平成 3 年（1991 年）から開催しているイベントで、今回で 33 回目です。今回から名称を「えべつ環境・SDGs 広場」に変更して、これまでも内容的には意識していた SDGs の観点もよりアピールするようにしました。</p> <p>4 年ぶりに 2 日間の開催に戻し、以前に好評だった映画の上映や手作りカレーの提供なども復活させ、多くの来場者の方にゆったりとした懐かしい時間も楽しんでいただきました。コロナ禍で学んだオンラインの手法も継続しました。映画や講演会は、会場開催を主としながらもハイブリッドで開催して、遠方の方が参加できる工夫をしました。</p> <p><主な内容></p> <ul style="list-style-type: none">・無料映画上映会「マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る 2050 年」・食材使いきりレシピ講習会「食品ロス減！栄養価キープ！！美味しさアップ！！～冷凍ってすばらしい！！～」・講演会『「地域」と「地域」で取り組む SDGs』・サステイナブルな暮らしや身近な SDGs のヒントが詰まった各団体による展示「環境屋台村」・同時開催「2023 消費者のひろば」 <p>特に映画「マイクロプラスチック・ストーリー ぼくらが作る 2050 年」は多くの反響をいただきました。「子どもたちが楽しそうに活動している姿に感動しました。自分も小さなことから少しずつでも何かしたいと思います。」「このような映画こそ、子どもたちだけでなく、大人たちが見て学ぶべき映画だと思います。ぜひ、水曜ロードショーで。」という参加者からの感想がありました。</p> <p>今回の特徴として、新しく出展してくれた団体が多くあったほか、新たな出展内容が加わった団体もありました。</p> <ul style="list-style-type: none">・「FOREST」Z 世代の若者による環境教育の紹介・「標本屋のぶんぶん」江別と近郊に生息する昆虫の紹介・「北海道ブックシェアリング」道内の図書環境の整備のためのチャリティ古書バザーと回収・「キロクラモッテン」古着の回収・「NPO 法人北海道環境カウンセラー協会」幌向自然再生事業の紹介（長年出展している「二酸化炭素はどんなもの？」のほかに、新たな出展内容が加わりました）

特に若い方々の出展もあり、来場者を盛り上げてくれると共に、出展者同士の学び合いがありました。そして「標本屋のぶんぶん」は、高校時代に環境広場に出展してくれた若者で、そのご縁で今年の出展につながりました。長年、環境広場を継続開催している成果の一つであり、嬉しく感じました。

また今回は、開催を通して、その後に団体間の連携が複数生まれた年となり、広場の目的の一つがこのような形で達成できていることも嬉しく感じました。

なお、例年通り今年も、ポスター・チラシの印刷に伴って排出された CO2 や、会場で使用する電力による CO2 は、カーボン・クレジットでオフセット（相殺）しています。

その他、出展の様子などについては次の特設ページをご覧ください。

▼第 33 回えべつ環境広場 2023

https://ebetsu-earth.net/modules/pico/index.php?content_id=10

なお、えべつ環境広場の主催は「えべつ地球温暖化対策地域協議会」で、私が会長として、同じく北海道地球温暖化防止活動推進員の岡崎朱実さんが副会長兼事務局長として関わっています。（地球温暖化対策地域協議会は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」で、地球温暖化防止活動推進員が、地方公共団体や、事業者、住民等と連携して、日常生活における温室効果ガスの削減を図るものと位置づけられており、推進員の重要な活動の一つです。）

▼えべつ地球温暖化対策地域協議会

<http://ebetsu-earth.net/>

実施写真等



メイン会場のホールでの「環境屋台村」展示の様子